

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和元年12月5日

事業所名 愛の木放課後等デイサービス

保護者等数（児童数） 15

回収数14

割合 93 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	80%	20%			基準等に従い、適切にスペースの確保は行っている。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	95%	5%			有資格者で人員配置を行い、基準を守り適切に行っている。また、研修等への積極的な参加を促し、専門性の向上を行っている。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	70%	30%			配慮が必要な箇所には設置を検討していく。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	95%	5%			日々成長や変化をしていく児童に対し、常に現状に沿った支援計画になるよう今後も努力を行う。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	90%	10%			平日、休業日と分けて活動内容は職員で日々検討し、計画を行っている。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	25%	70%	5%		中々、同じ空間で時間を共有することは難しいが、事業所と児童クラブの併用等ができるようにサポートを行っている。
	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%				今後も継続していく。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解ができているか	95%	5%			短い時間ではあるが、毎日の送迎の際に今日の様子はお伝えするようにしている。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	90%	10%			保護者の不安や悩みに寄り添い、適切な支援に繋がるようにしていく。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	80%	20%		保護者の集まりの場では他の保護者さんと色々な話が出来て良かった。	年に1度の保護者と職員の懇談会には多数の参加を頂き、普段話す機会の少ない保護者間での意見交換の良い場になっている。今後も開催を継続していく。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%				今後も継続していく。

保護者への説明等	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%			連絡帳や迎えの際に様子などを伝えて頂けるのが有難い。	今後も継続していく。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	100%				今後も継続していく。
	14	個人情報に十分注意しているか	100%				今後も継続していく。
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	60%	40%			マニュアルは作成しているが、保護者への周知は出来ていない箇所がある為、今後は周知、説明を行っていく。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	45%	55%			6が月に一回の避難訓練の実施を行っている。今後は訓練時の様子等の発信を定期的に行うようにする。
	17	子どもは通所を楽しみにしているか	90%	10%		男の子が居ると特に楽しみにしている。	どの子供たちも楽しく通所で、その中で成長していける支援を今後も継続して行う。
	18	事業所の支援に満足しているか	100%			長期休暇中に色々な経験が出来ている。食事提供はおいしい食事が楽しみな様子。	今後も継続していく。

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。